

# 遊山箱をもって 商店会を歩こう スタンプラリー開催中！

日時：7/12（土）10:00～15:00  
会場：戸塚駅周辺商店街  
スタート：YMCA 又は区役所3F区民広場  
ゴール：戸塚駅東口ハト広場  
主催：戸塚東口商店会  
とつか宿駅前商店会



# 風鈴遊山箱 阿波踊り in とつか

遊山箱 発祥の地  
徳島の魅力がいっぱいの企画



## 阿波踊り 公演時間

11:30～ 湘南とつかYMCA  
12:15～ 矢部町セブンイレブン  
13:00～ 戸塚駅東口ハト広場  
(各回 15 分間、雨天中止)

パフォーマンス「横浜にしや連」  
平成7年にまちおこしをきっかけに、保土ヶ谷区で阿波踊りをスタート。地元はもちろんのこと、各地イベントなどでも数多く演舞している。大規模な連ではないが、「楽しく踊ろう」をモットーに、練習に励む。

## WHAT'S 遊山箱？

遊山箱とは、徳島県に昔からあるお弁当箱です。

昔、子どもたちは農作業などの手伝いで自由に遊ぶ時間があまりありませんでした。でも春の節句の時だけ、自由に友達と遊ぶことができました。お母さんはその日のために、子どもたちにお弁当を作ってくれました。そのお弁当箱として使われていたのが遊山箱です。

子どもたちはお弁当が入った遊山箱を持って、山や川に出かけます。道中、近所の人におかずをもらったりしてお弁当の中身をいっぱいにします。そうして、子どもたちだけの行楽（遊山）を楽しみました。この徳島の風習を戸塚で新しい形で復活させたのが、今回で15回目になる遊山箱スタンプラリーです。1年を通して春、夏、秋の3回、この企画を行っています。自分だけのオリジナル遊山箱を持って、戸塚の商店街を歩いてみませんか？







### ....遊山箱って何ですか？

— 遊山箱（ゆさんばこ）というのは、どういったものなのでしょう。見かけは重箱のようにも見えますが。

橋本「その名の通り、遊山に行くときのお弁当箱ですね。徳島ではむかしから、節句に子どもたちが遊山箱を持って野山へ遊びに出かける風習があるんです」（※詳細は表面）

— 橋本さんは徳島県のご出身でしたね。

橋本「そうです。うちは両親とも働いていて、きょうだい3人祖母に育てられたんです。その祖母がよく、お重にお弁当を詰めて、ピクニックに連れて行ってくれました」

— 子どもの頃から遊山箱の文化に親しんでいたんですね。

橋本「でも実は、遊山箱の存在を知ったのは戸塚に来てから。徳島の中でも南の方は今でもやっているんですが、私の住むところはあまり……。たまたま戸塚の人に聞いて、それでググって（笑）そこで初めて、あれは遊山箱の風習だったのかなあ、と思ったんです。」

— ではなぜ、戸塚で遊山箱のイベントを？初開催は2010年3月と聞きしましたが……。

橋本「その時、商店会のひな祭りの催しに関わっていて。その企画の一つとして開催したのが最初です。遊山箱は節句の風習だし、ちょうどいいと思ったんです。戸塚駅の周辺は商業ビルが目立ちますが、実はたくさん個人商店があるんですよ。だけどそういうお店って、ちょっと入るのに勇気がいりませんか？せっかく専門店がこんなにあって、お店の人も面白い人が多いのに、もったいないって思っていました。このイベントがきっかけになればいいなど。最初の参加者は50人くらいだったかな……」

— 今やすごい人気ですね。前は小雨にもかかわらず、300人以上の子どもたちが参加したとか。

橋本「はい。さらに保護者の方たちもいらっしゃいますからね。私にとっての祖母との思い出のように、参加者の皆さんにとって暖かい、いい思い出になれば嬉しいです」

— 商店の活力にもなるでしょうね。

橋本「そうだといいなと思って始めました。でも、私が主催として携わったのは最初の1回だけ。ここまで育て上げてきたのは、商店会の皆さんです。4年も続いているのは、やっぱり地元ですと暮らしている人たちだからこそその力だと思います」

— 戸塚の住人として、感じることはありますか？

橋本「単純に、自分の住むまちがにぎわうのは嬉しいです。こういう機会を重ねることで、地域でお互いを見守る態勢が育つんじゃないかなんて、期待しています」

### ....戸塚にクラス魅力って何ですか？

— 橋本さんは大学卒業後に一度戸塚を出て、東京で暮らしていらしかったとか。戸塚に戻られたのには何か理由が？

橋本「うーん……特別な事情はないです。ただ、戸塚は私にとって住みやすい場所なんです。街の人たちの顔が見えるというか……」

— たしかに、橋本さんと戸塚を歩いているとよく声をかけられますし、橋本さんも声をかけていますよね。

橋本「家族とは離れていますが、おかげさまで寂しくはないです。知人がたくさんいて、ホッとできます」

— そもそも、街の人と交流するようになったきっかけは？

橋本「大学の授業で“地域の困っていることを調査する”という課題があって、区役所にヒアリングに行ったんです。そこで、戸塚で長年喫茶店を経営する傍らまちおこし活動をしている、ドンみたいな人（笑）を紹介されて。最初はちょっと怖くて、ドキドキしました。でも、それからその人のお店に通い始めて、徐々に……。戸塚はつながりやすい場所なんだと思います」

— つながりやすい。

橋本「地域の中に入りやすいというか。一歩踏み込めばトントン拍子で話が進んだりする。やる気や想いを受け止める土壌があるんでしょうね」

— 一声かける、一歩中に入る。それだけで少し楽しい暮らしになりそうですね。

橋本「はい。戸塚のお店の方は、とにかく面白い人が多いです。見た目はおっかなそうな人も多いけど、大丈夫（笑）今回のイベントだけでなく、ぜひ足を運んでみてください」



#### 橋本 友里（はしもと ゆり）

徳島県鳴門市出身、横浜市戸塚区在住。明治学院大学卒業。大学在学中から戸塚のまちおこし事業に携わる。2010年に仲間と遊山箱イベントを企画・プロデュース。現在はイベントのサポートをしつつ、次の企画を妄想中。